



日本国民が納得できる日米地位協定に改定を!!



● 3月26日夕刻から国会内で開催された「日米地位協定改定に向けての集い」に出席しました。各党派の代表等が日米地位協定改定について意見を述べる集まりで、希望の党からは私が出席し、沖縄防衛局長時代に経験したことも踏まえながら話をしました。

日米同盟の維持には国民の理解が必要

● わが国の安全保障は、自衛力の整備とともに日米同盟をしっかりと維持することが基本です。際情勢が大きく変わる中、世界全体にとって日米同盟はより重要になってきています。

● 日米同盟を安定的に維持するためには在日米軍の存在について多くの国民の理解が必要不可欠です。日米軍が必要なのはある程度は理解できるものの、米軍による事件・事故は絶対に起こしてほしくない、これが多くの国民の声だと思えます。

日米地位協定の改定を

● そして在日米軍に関して規定しているのが日米地位協定です。米国と地位協定

を結んでいる国は多数ありますが、米軍にこれほど多く治外法権を認めている国は世界でも例がありません。諸外国の例を参考にしながら、多くの国民が納得できる日米地位協定のあり方を考えておくことが大切です。

◆ 井上一徳のホームページに私自身の日米地位協定に関する考え方や国会での質疑を掲載しています。<https://inouekazunori.com/>

日米地位協定とは

【大辞林第3版の解説より】

◆ 正称、日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定。日米行政協定を改めたもので、1960年の新安保条約の締結とともに発効。在日米軍に関して、基地・施設の提供、裁判管轄権、税の免除等の便宜などについて定めている。



● 3月23日、海上保安学校の卒業式に参列しました。訓練の成果を活かし、大切な日本の海を守るため頑張ってください。応援しています。



● 本松・統合幕僚副長が九州・沖縄地区を担任する西部方面総監にご栄転です。中国軍の海洋進出にともない南西諸島の防衛強化が重要な課題となっておりますが、沖縄地方協力本部長を経験された本松陸将が着任されることになりとても心強く感じています。西の防人としてよろしくお願い致します。



● 3月28日に青年海外協力隊、シニア海外ボランティアの皆さんが無事帰国され、本日、外務大臣感謝状授与式・懇親会が行われました。海外での得難い経験を活かしさらにご活躍されることを祈念しています。